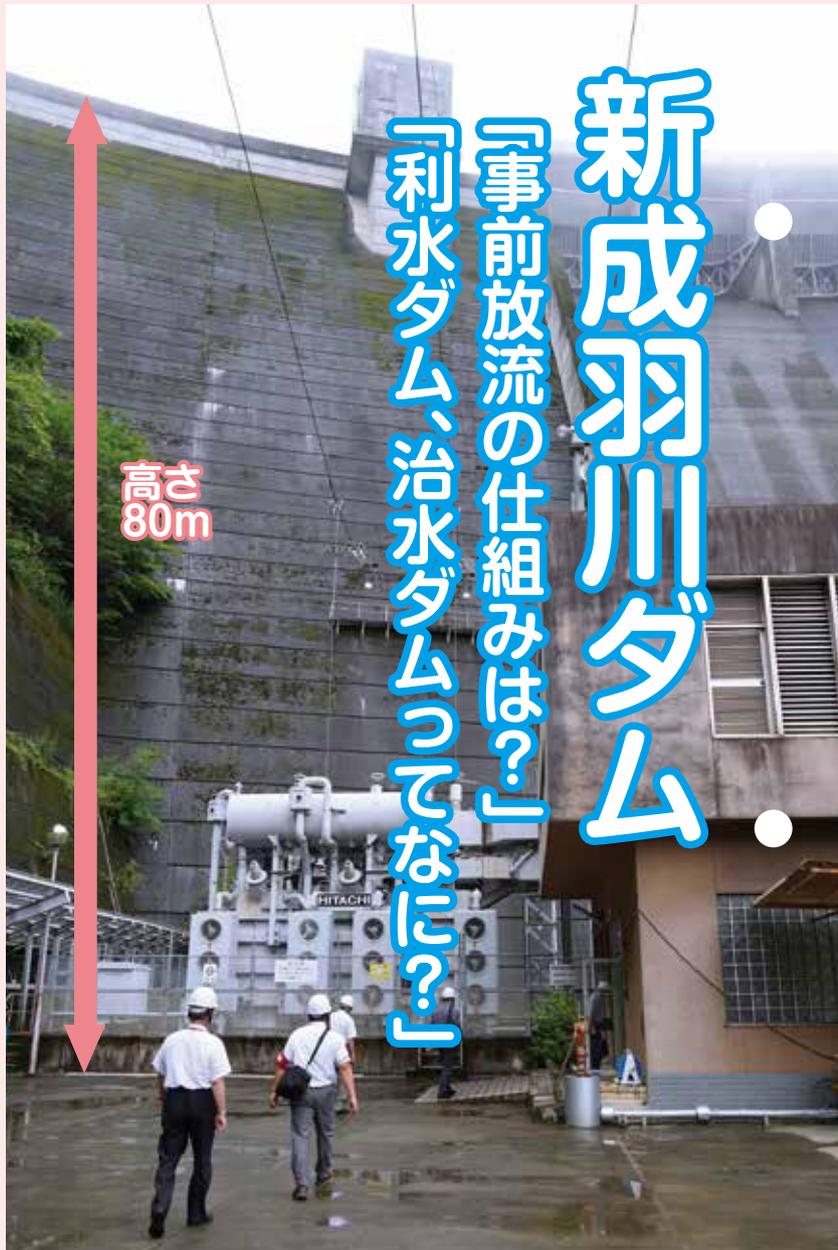


議会だより

令和2年8月定例会版



広聴広報委員会 現地取材報告

日程	内容
11月30日(月)	開会
12月4日(金)	一般質問
12月7日(月)	一般質問
12月8日(火)	一般質問
12月9日(水)	一般質問・質疑
12月10日(木)	委員会
12月11日(金)	委員会
12月14日(月)	委員会
12月18日(金)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

特集 広聴広報委員会【現地取材報告】…………… 2ページ

主な内容

8月定例会市議会……………	4ページ
一般質問……………	7ページ
委員会活動報告……………	13ページ
復興に向けて・その軌跡(vol.8)……………	16ページ

学校等休業支援金837万円の予算案を否決 令和元年度一般会計・特別会計決算を認定

8月定例市議会

8月定例市議会が8月31日に開会し、議案25件、請願1件、陳情1件の審査を行い、9月24日に閉会しました。

令和2年度一般会計補正予算第7号を否決(※先議)

新型コロナウイルスの影響で総社東中学校を一週間の臨時休校にしたことに伴い、生活保障として、生徒全員837人に1万円を支払う837万円の補正予算案です。

先議のため、開会日に文教福祉委員会に付託され、審査の結果、起立採決により可決すべきと決定されました。本会議に移り、4人の反対討論があり、起立採決により賛成少数で否決となりました。

令和2年度一般会計補正予算第8号を可決

歳入歳出それぞれ3億6千万円を追加し、令和2年度の一般会計予算の総額は、約37.1億円となりました。

主なものは新型コロナウイルス関連で、研修やイベント等の取りやめによる減額、新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業に係る経費の増額です。

<※先議とは>
通常、議案はあらかじめ予定された採決日や閉会日に採決しますが、その日を待たずに会期の途中で採決する議案のことです。今回は開会日に議決しました。

また、本年7月の大雨により被害を受けたところの復旧に係る経費1150万円や、ため池などの復旧に3900万円、臨時休校対応に伴う授業の補充にかかる指導員・支援員の追加配置に530万円です。

人権擁護委員2名同意

人権擁護委員候補者の川上和美氏(中原)、江本学氏(福谷)の推薦に同意しました。

議員提出の乙号議案

議会最終日、議案乙第4号「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書について」、議案乙第5号「地方財政の充実・強化を求める意見書について」、議案乙第6号「教職員定数の改善及び義務教育費

国庫負担制度拡充に係る意見書について」、議案乙第7号「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について」、議案乙第8号「総社市民に対する「コロナ差別」防止の呼びかけ決議について」の5議案を可決しました。

請願・陳情の審査結果

件名	結果
地方財政の充実・強化を求める請願書	採択
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採択

総社市議会から市民の方へ呼びかけ

コロナ差別の防止

新型コロナウイルス感染症に起因する「コロナ差別」の防止をするため、次のとおり対応をお願いします。(議案乙第8号)

総社市民に対する「コロナ差別」防止の呼びかけ 決議

総社市議会は、新型コロナウイルス感染症により社会をむしばむ「コロナ差別」の防止を目指し、全ての総社市民に呼びかけます。

現在、日本を、世界を席卷するかのようになり、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、総社市も決して例外とは言えなくなってまいりました。

総社市では、専門家の知見を生かし、可能な限りの対応に全力を注いでいるところであり、私たち議員一同も、市民の声を聴き、行政を支援すべく、努力を続けているところでございます。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大により、感染者やその家族、最前線でウイルスと闘う医療従事者、物流を支える運送業者などに対する差別やいじめは、社会問題化しつつあります。

このような、いわれなき差別的扱いや誹謗中傷は、決してあってはなりません。「コロナ差別」の防止には、市民が一丸となり、正しい理解を広め、差別やいじめのない社会を目指すことが肝要であります。

総社市議会は、次の4つのことを誓いますとともに、市民みなさまに対し、差別の防止を呼びかけます。

1. 感染者を悪く言いません
2. 感染者の家族や職場等を悪く言いません
3. 不確かなうわさは話しません
4. 自分やほかの人を大切にします

以上、決議する。

令和2年9月24日

総社市議会

注：全市民への呼びかけといった趣旨から、文面は全て振り仮名を付したものとしております。



8月定例市議会

一般質問

今回の一般質問も、感染症のリスク軽減及び感染症対策にかかる当局の市民対応を考慮し、質問時間を通常の40分から30分に短縮しました。また、説明員の代理出席を認めました。

問 「総社らしい」とはどういう意味か。

市長 材料に総社のものを用いるなどして、総社らしさを凝縮した庁舎にしたい。

問 機能性を高め、これからの50年を見据えた庁舎を建設することが、総社らしさを表現することになると考えるが、どうか。

市長 1階で用事を済ませられるワンストップ窓口を設け、組織も器に合わせて変えなければならぬと考える。

問 近年、近所の人々の関係が希薄になっている。新庁舎にはこのような社会的問題を克服できる機能を備える必要があると考えるが、どうか。

市長 問題は把握している。職員をより活用していく



村木 理 英

問 新庁舎はどのようなコンセプトで建設するのか

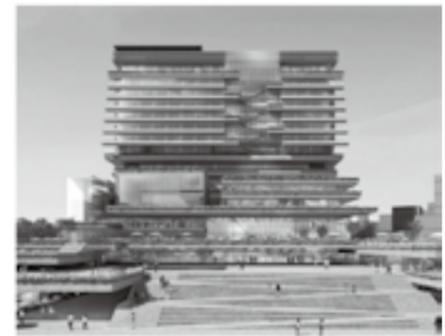
答 市民に寄り添い、「総社らしい」庁舎にしたい

ために、A1などを積極的に取り入れ、職員は対人業務に特化させ、市民に向き合うことができる環境を整備する必要があると考えるが、どうか。

市長 そのとおりである。

問 限られた予算を、外観だけでなく機能性を重視した設備に充てるべきと考えるが、どうか。

市長 その点も十分に考慮したい。



▲防災拠点機能も強化した岡山市新庁舎イメージ

令和2年8月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番 号	付 議 事 件	結 果
議案第53号	財産の取得について ※児童生徒教育用コンピュータの購入	原案可決
議案第54号	令和2年度総社市一般会計補正予算(第7号)	否決
報告第7号	令和元年度総社市健全化判断比率及び資金不足比率について	報告を受けた
議案第55号	総社市税条例の一部改正について	原案可決
議案第56号	令和元年度総社市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第57号	令和元年度総社市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第58号	令和2年度総社市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議案第59号	令和2年度総社市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第60号	令和2年度総社市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
認定第1号	令和元年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第2号	令和元年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第3号	令和元年度総社市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第4号	令和元年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第5号	令和元年度総社市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第6号	令和元年度総社市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第7号	令和元年度総社市国民宿舎事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第8号	令和元年度総社市水道事業会計決算認定について	認 定
認定第9号	令和元年度総社市工業用水道事業会計決算認定について	認 定
意見第2号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
意見第3号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
議案乙第4号	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書について	原案可決
議案乙第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	原案可決
議案乙第6号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書について	原案可決
議案乙第7号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	原案可決
議案乙第8号	総社市民に対する「コロナ差別」防止の呼びかけ決議について	原案可決
請願第1号	地方財政の充実・強化を求める請願書	採 択
陳情第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採 択

令和2年8月定例総社市議会での賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議案等	議員名	山田	溝手	三上	菅野	三宅	岡崎	深見	小川	高谷	小西	難波	小西	津神	村木	頓宮	赤澤	名木	加藤	根馬	山口	議決
		雅徳	宣良	周治	哲也	啓介	亨一	昌宏	進一	幸男	義巳	正吾	利一	謙太郎	理英	美津子	康宏	正昭	保博	和子	久子	結果
議案第54号	令和2年度総社市一般会計補正予算(第7号)	×	退	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	否決
認定第1号	令和元年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案乙第4号	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

[凡例] ○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 ・剣持堅吾議員は、議長のため採決には加わりません。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。※QRコードを読み取ると各議員の一般質問の録画放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。



良 宣 手 溝

問 「総社を愛す子供」を育てるため、総社市の戦没者に対する教育は重要と思うが、誰が担うべきと考えるか。

市長 何を誰が教えていくのか、総合教育会議と教育委員会で論じていきたい。

児童・生徒の通学について

問 中学生の自転車保険の加入状況はどうか。

教育長 入学時にTSマーク付が7割、PTA連合補償制度加入が1割から2割、自動車保険の特約等の場合もあるが、全員加入に至っていない。

問 TSマークは点検整備を受けないと1年で失効するが、年ごとの実施状況はどうか。

教育長 販売店で確認したところ、2割から3割だ。2年生以上では加入率が下がる傾向にある。

問 戦没者に対しての思いはどうか

答 ご英霊に対する敬意を忘れてはならない

向にある。

問 加入補助はできないか。

教育長 補助の考えはないが、100%加入を目指していく。

問 指定通学路以外での事故の対応はどうか。

教育長 明らかに通学中であることが確認された場合は、市外であっても補償の対象だ。危険用水路について

問 市内に何箇所あるのか。

建設部長 土木担当員からの要望は、用水路・排水路・河川が51箇所、延長が4900mだ。総社警察署からの指摘が4箇所、延長が780mだ。

市長 工事の進捗状況は年に約1kmで、転落防止柵を設置している。警察の指摘箇所については路肩に反射板等の設置で対応している。



子 和 馬 根

問 代表的な観光地の備中国分寺は全国から観光客が来ている。今の時期は赤米が実って風になびき、情緒豊かで美しい光景だが、民地も多い中どのように整備するのか。

市長 国分寺、五重塔は市の代表的な観光スポットとなっている。周辺は県有地もあり、また私有地も近くにあるので、よく検討し、丁寧に美しく整備して、観光客の方々にも愛してもらえようしていく。

時の人口は6万6827人、令和2年8月は6万9428人だ。2601人の増加で、そのうち1062人は山手地区である。これも景観の良さが功を奏しているのではないかと考えるか。

市長 この地域は、気候が温暖で住みやすく地の利を得ているので、多くの人が住みたい街として来ているのではないかと。サンロード吉備路発のミニバスやサイクリング等を吉備路観光ボランティアや観光協会と協力してPRしていく。



赤米が実る国分寺周辺

問 近くにある下水処理場の草刈りは、どのくらいの頻度で行っているのか。

環境水道部長 昨年まで、5月、8月、11月の年3回行っていたが、今年は6月を加え4回行う。

問 総社・山手・清音の合併



介 啓 宅 三

商品券事業について

問 そうじゃ復活券についてなぜ発売を延期したのか。

市長 7、8月には岡山県内で新型コロナウイルスの感染者が100名を超え、その中で総額10億円近くのプレミアム商品券(そうじゃ復活券)の販売には危険があると考えた。



写真：9月発売が延期されたそうじゃ復活券(議会質問後、専門家会議が開催され10月発売が決定)販売価格は1冊5,000円(500円券×14枚つづりで7,000円分)市民1人につき、2冊までそうじゃ復活券を購入できる。市内の様々な登録店で利用可能。

問 図書館の利用者カードをスマホに表示し貸出できないかを借りられるようにする

答 どのような状況になれば販売をするのか。

市長 総社市感染症専門家会議を開催し、医師等の指示を仰ぎ販売時期を決定する。

問 専門家会議の開催は早く行うべきと考えるがどうか。

市長 早めに開催したい。コロナ禍における図書館の運営について

問 利用者登録をWEBで申請できるようにすべきと思うがどうか。

市長 WEBで利用者登録できるようにしたい。

問 財源確保策として雑誌スポンサー制度を導入してはどうか。

市長 導入について前向きに進めていきたい。

問 具体的な目的は何か。

市長 止めるものは止めることを是としてやっていく。

問 公共施設等総合管理計画について

市長 止めるものは止めることを是としてやっていく。

問 具体的な目的は何か。

市長 止めるものは止めることを是としてやっていく。

問 公共施設等総合管理計画について



山田 雅徳

問 休校時の学習支援に授業の映像配信等の考えはないか

答 子ども達の学びを保障するため、態勢整備を急ぎたい

問 コロナ禍での感染不安による自主休校の実態はどうか。

教育長 5月25日の学校再開時には、小学校12人、中学校10人の児童生徒が自主休校していた。現在でも、自主休校をしている児童生徒がいる。

問 自主休校は欠席扱いになるのか。

教育長 「校長が出席しなくてもよいと認めた日」として扱い、出席停止扱いである。



オンライン授業のイメージ

教育長 プリントでの学習や担任による学習や生活状況の聞き取り等、フォローを行っている。放課後に登校し、テストを受けている生徒もいる。

問 コロナ禍が収束するまでの対応として登校選択制やオンライン授業の考えはどうか。

問 機材の確保には一定の道筋が見えたが、撮影や配信など運用面で教職員に大きな負担がかかるが、対策はどうか。

市長 現場の声を聞きながら答えを出し、必要なことは国に支援を求めたい。



頓宮美津子

問 庁舎内での防災訓練をしてはどうか

答 今年度中の実施を検討したい

問 公共電柱広告に防災情報(QRコード)を導入してはどうか。

市長 県の電柱広告協会と連携して導入を進めたい。

問 いっどこで地震等の災害に遭遇するか分からない。通勤通学途中でよく目にする電柱に避難所の情報があれば、どこでも避難ができる。広域連携しての実施が望まれる。市長が県内に発信して進めてほしい。

市長 現在市長会の会長なので発案したい。



防災情報QRコード

市長 丁寧に慎重に個人の人權を守りながら体制整備・啓発を進めたい。

教育行政について

問 GIGAスクール構想の中でICT特区を定めて進めてはどうか。

教育長 モデル校を定め、進めていきたい。



萱野 哲也

問 清音黒田地区を忘れてはいないか

答 平成30年の豪雨災害では心を痛めている

問 林道黒田浅原線の工事の現状はどうか。

市長 避難道で平成12年から計画し、用地買収の未解決部分もあり、平成17年時点で事業費ベース52%完了している。現在、工事は中断している。

問 今後の工事費はいくらか。

市長 4億690万円を見込んでいる。

問 この道路ができた際に地元がすべき維持管理の草刈りほどの程度か。範囲や人数はどうか。

市長 今後地元とよく相談していく。



黒田地区につながる唯一の道

問 庁舎建設より前は考えにくい。林道整備事業は合併協議の約束であり、その後話に出てきた吉備線LRT化や美術館建設よりは優先してすべきだと思いがどうか。

市長 地元と協議してタイミングを推し量っていききたい。

学校運営について

問 総社東中学校の休校は事前にコロナ対策を想定していたとおり学校運営が行えたのか。

教育長 状況の中で判断した。



小川 進一

問 優良な宅地が少なくなってきたがどうか

答 市街化区域の拡張も県と協議する

問 人口政策について

問 出生数が減少しているが原因はどうか。

市長 令和2年5月、6月は減少したが、現在は例年どおりとなっている。

問 令和7年度の人口目標を達成するための施策はどうか。

市長 企業誘致が順調で、進出希望企業が10数社ある。社員の定住が相当数あると思う。また、外国人実習生や障がいのある方の支援も進めていく。

問 優良な宅地を求める人が多いが、市街化区域の土地の転用はどうか。

市長 市街化区域の宅地化は確かに進んでいる。調整区域の50戸連たんを利用して宅地化しているが、規制がかかるようだ。調整区域の市街化の

問 犯罪被害者の支援について

問 本年6月に国で「性犯罪・性暴力対策の強化」の方針が決定された。本市は、早くから、犯罪被害者支援等に対する条例の策定や対策に努めてきた。絶対に許さないという市民力向上に向けて取り組むべきではないか。

市長 丁寧に慎重に個人の人權を守りながら体制整備・啓発を進めたい。

問 市街化区域の拡張も県と協議する

問 保育の活用定員の計画が大幅に増えているが、確保の方策はあるのか。

市長 現在、待機児童は0人だが、保育所入所希望者は133人いる。これは園指定の希望者は待機児童に含まれないためだ。定員増や公立保育所の民営化、保育士の確保等、対策を進めていく。

問 コロナ禍で学校休業中も保育所は休園しないで通常保育をしている。2月議会でも考えると言った保育士の処遇改善はどうなっているのか。

市長 令和3年度の当初予算で大幅に改善しようと思っっている。



高谷 幸男

問 あなたにとって一番やさしいまちそうじゃとは何か

答 一人ひとりが安心して生活ができるそうじゃである

問 後期基本計画は3つの重点事項を設定しているが、どのような取組か。

市長 1、相互扶助。困っている人に手を差し伸べる市民を目指す。2、地域の一元化。つながる力を発揮する地域を創る。3、行政の一元化。徹底的に寄り添う行政。以上の3項目により、市民の協力のもと、地域、市役所が一元化した施策による「そうじゃ」の実現を図る。

令和3年度当初予算について

問 指定管理者制度の更なる活性化による行政改革と財源確保は考えられないか。

市長 現在37施設を指定しているが、可能な施設があれば考えたい。

問 公共施設のネーミングラ



岡崎 亨一

問 マイナポイントや自治体ポイントの周知はどうか

答 庁内でチームを作って進めていく

問 自治体ポイントの進捗状況はどうか。

市長 制度の入口にいるが、市内での導入機器の問題で進んでいない。今後、ICT化やキャッシュレスは時代の流れなので、副市長中心に進めていく。

職員採用と人材育成について

問 6月と9月の採用とした理由はどうか。6月の状況はどうか。

市長 今までは他自治体を合格した方の辞退があった。総社を愛する人を是非採用したい。6月の採用試験では結果として辞退者が大幅に減った。

問 有資格者の確保はできているのか。

市長 この部分が駄目なところで、土木職や電気職が不足

している。確保に向けて頑張る。

光ファイバー整備事業について

問 市内の整備率はどうか。

市長 整備率は86・6%で未整備地域は池田地域、あおいハイツを除いた西部地域、昭和地域、阿曾地域の一部である。光通信も含めて発想の転換点と感じている。

新型コロナウイルス対応について

問 専門窓口を設けての問い合わせ対応や、消毒作業を専門業者に依頼すべきと思うかどうか。

市長 24時間体制で市役所を挙げて市民を守っていききたい。消毒作業は市役所が責任を持って行いたい。

総務生活委員会

当委員会では審査した案件は、8月定例会では議案5件、請願1件であり、全て原案どおり可決しました。(請願1件は採択)

主な内容は次のとおりです。

《8月定例会》

●総社市条例の一部改正について(議案第55号)

地方税法の改正に伴い、土地又は家屋に係る現所有者の申告制度が創設されたことから、現所有者の申告に関し必要な事項を定めるため、関係条文の整備を行うもの

問 現所有者であることを知った日とは何ををもって言うのか。

答 現所有者本人が、知ったと申し立てた日をもって言う。

●令和2年度総社市一般会計補正予算(第8号)(議案第58号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・歳入では新型コロナウイルス

ス感染症対応地地方創生臨時交付金、歳出では希望退職者の退職手当、法人市民税確定申告等による市税還付金の増額が主なもの

問 コロナウイルス感染症のため中止となった水防訓練は、今後行わないのか。

答 今年度、水防訓練は実施しないが、防災訓練等は実施する予定である。

■一般会計決算審査特別委員会総務生活分科会

◎令和元年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

問 外国人集住都市会議への参加の成果はどうか。

答 国内の13都市の集まりで、県内参加は本市のみである。年々増加する外国人に対し、

各市の多文化共生施策の取組を見聞きでき、組織的な活動として意見を集約し、国への要望等を行うことや、今後の施策の在り方などの説明を国から受けることができている。

問 雪舟生誕地公園整備の進捗状況はどうか。

答 雪舟生誕地公園の工事は順調に進んでおり、建築工事は約9割、造成工事は3割から4割程度完成している。今年11月に雪舟サミットを行う予定のため、同時に公園の完成記念イベントを行いたいと考えている。

問 市の公式ラインは誰が、いつ発信しているのか。また、内容の責任はどこにあるのか。

答 各担当課からの原稿をうけて、市政情報課が、原則8時30分から19時頃までの間に発信している。内容の責任は各担当課が担っている。

問 岡山市町村税整理組合負担金はこれからも必要なのか。

答 市税の収納率を上げるため、滞納整理を進めることとなり、平成24年度から積極的に税整理組合を活用している。令和元年度は約4200万円徴収し、支払った負担金は5

80万円余りで差引き3600万円余りの効果がでている。この業務を職員で行うには、人員不足や業務量の増大が見込まれるため、今後もしばらくの間は活用が必要だと考えている。

◎本分科会に分担された部分において、備南競艇事業組合への負担金は、妥当でないとの理由から異議がありました。

文教福祉委員会

当委員会では審査した案件は8月定例会では議案7件、陳情1件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は採択)

主な内容は次のとおりです。

《8月定例会》

●令和2年度総社市一般会計補正予算(第7号)(議案第54号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校に伴

う支援金の計上が主なもの
支給のルールができていない中で、支給するのはどうか。小学校や幼稚園等で休校となった場合はどうするのか。また、学業支援や安心・安全の支援等にお金をかけるべきではないか。

答 ルールを明確にすることは重要であるので、早急に検討する。今回の支給は、中学校休校に対する支援という趣旨である。学校等においては、児童生徒や教職員に新型コロナウイルスについて正しい理解ができるように取り組んでいる。また、誹謗中傷がないよう指導を行っている。

質疑の後、自由討論を行い、採決に移り異議があったため起立採決を行い、起立多数により、原案を可決すべくであるとした。

令和2年度総社市一般会計補正予算(第8号)(議案第58号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

した。

主な内容は次のとおりです。

《8月定例会》

令和2年度総社市一般会計補正予算(第8号)議案(第58号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった事業費の減額が主なもの

問 赤米PR動画の配信はどのように行うのか。

答 ユーチューブや市のホームページの赤米フェスタのサイトなどで視聴できるようにする予定である。

問 地域未来投資促進法による企業立地を進めるにあたり、河川への雨水流出量等の影響を調査することだが、どういった経緯か。

答 田を造成することにより、既設の排水機場等に影響があるのではないかと意見があったため、調査をしようとするものである。

・後期高齢者医療費の広域連合会への負担金の増額が主なもの

問 後期高齢者医療費広域連合会負担金の増額理由は何か。

答 理由は2つあり、ひとつは、1人あたりの医療費が平成30年度より約5万4千円増額となったためである。もうひとつは、後期高齢者の被保険者数の伸び率が高くなったためである。疾病の重症化やそれに伴う医療の高度化が増額要因と考えられる。

一般会計決算審査特別委員会文教福祉分科会

令和元年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

問 ひきこもり支援事業において、ひきこもりサポーター養成講座を実施しているが、受講者は何名であったか。また、受講者のうち何名が実際に活動しているのか。

答 平成28年度から養成講座を始め、今まで169名が受

令和元年度総社市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算認定について(認定第5号)

問 農業集落排水使用料の収入未済額がかなり多くなっている。今後どのようにしているのか。

答 市営住宅の使用料徴収においては、債権の回収を民間に委託していると聞いたので、その制度が使えるか検討していきたい。また、徴収努力を引き続き行いたい。

一般会計決算審査特別委員会産業建設分科会

令和元年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

問 桃太郎線LRT化基本計画について、策定が遅れているとのことだが、現在の状況はどうか。

答 岡山市域において駅の数が増え、大幅な事業計画の見直しを行っている状況であり、今年度中の基本計画公表を目

講している。そのうち77名の方がひきこもりサポーターに登録していて、45名が実際に活動している。活動率は58.4%である。

問 総社小学校の放課後児童クラブ数は1つなのか。同じ規模の常盤小学校は3つあるが、補助金を有効に活用し運営できているのか。また、運営にあたってどのような課題があるのか。

答 現在、児童クラブは総社宮の敷地内にあり、同じ場所に新たな施設を建てることは難しく、指導員の確保のこともあり、児童クラブ数は1つである。利用には欠席ローテーションや利用児童は3年生まで等の条件がある。今後、別に新たな施設を建てることも含め、より良い環境で運営できるように検討していかねばならないと考えている。

問 母子父子自立支援員は1人しか配置がないが、近年の相談件数や訪問回数を考える

指し3者で協議を行っているところである。

問 働く婦人の家、サンワーク総社について、利用状況はどうか。

答 本来は勤労者のための施設ということだが、実際は公民館と同じような利用形態であり、今後施設の個別計画をたてていく中で、こういった形で利用していくのがいいか議論していく必要があると考えている。

問 やよい広場について、高床式倉庫の修繕の際、広場全体の在り方について再検討するようにとの附帯決議を付したが、その後の状況はどうか。

答 トイレについては、公園整備の一環として改修したいと考えている。案内看板や車止め等についても随時改修を行っているところである。

問 市営住宅の老朽化が進んでいるが、統廃合等の予定はどうか。

答 市営住宅のうち、木造の

と、十分対応できているのか。

答 多忙な状況ではある。相談は児童扶養手当の申請や就労相談など様々である。特に離婚前相談は神経を使い、時間もかかる。母子保健係や家庭児童相談員と連携協力し、対応している。

問 高梁川河川敷グラウンドと清音河川敷グラウンドの災害復旧工事の内容はどうか。大雨が降り冠水するたびに、8800万円等の費用がかかるのか。

答 どちらの工事も主なものは、芝生の張替えと野球場の整備である。冠水すると、芝生が根付いている部分は流されることはないが、野球場等の土の部分は流されてしまう。復旧工事の費用は、災害の規模により異なると考える。

産業建設委員会

当委員会で審査した案件は、8月定例会では議案9件であり、全て原案どおり可決しま

住宅については、老朽化が激しいので、統廃合を考えている。現在は入居の募集を停止しており、空いた住宅から解体を進めている。

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[令和2年7月~令和2年9月分] (単位:円)

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
募 金	7/20	5,000	原水爆禁止2020年国民平和大行進
4月からの累計	-	45,000	-

平成30年7月豪雨2周年式典に出席

7月6日に秦の西仮設住宅で行われた2周年式典に全議員が出席しました。



復興への思いを込めて挨拶をする剣持議長

復興に向けて・その軌跡 (vol.8) 忘れてはいけない 「平成30年7月豪雨」

今、世界は新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされ、不安と恐怖の中にいます。近年は地球温暖化の影響等で台風が大型化するとも言われ、勢力を維持したまま上陸するなど大きな被害をもたらしています。

昨年、関東地方を襲った台風による被害は記憶に鮮明に残っているとありますが、風水害は最も頻度の高い自然災害です。今年7月に九州地方をはじめとした豪雨災害は「令和2年7月豪雨」と命名されました。送られてくる映像を見ていると2年前に起きた「平成30年7月豪雨」を彷彿させられました。

7月6日、昭和公民館で開催された「今年も頑張っているよ！美袋」復興イルミネーションやサプライズ花火を取材しま

した。あいにくの雨でしたが、イルミネーション点灯時にはピタッと止み、集まった方々の笑顔を見ることができました。これから、広聴広報委員会は、決して「平成30年7月豪雨」を忘れることなく地域の特性に合わせた対応を心がけていきます。

(三上周治)



住民の心を癒やす花火



イルミネーションが設置された昭和公民館

編集後記

コロナの影響により、世の中のデジタル化が益々進んでいる。

例えば、総社市では小中学校の全児童・全生徒用にノートパソコンの購入をいち早く県内で決めた。ICTを活用した教育を進め、コロナ等で学校休校になった場合でも、各家庭で授業が受けられること等も想定している。

人の支え合いは、福祉や災害時には必要で、弱い立場の人の心を大切にしなければならぬし、教育や観光分野でも人と人との交流は必要だ。

議会としてこれらを踏まえ、どうすれば総社市の発展につながるか、バランスも考え行動しなければならぬ。

(三宅啓介)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 赤澤 康宏 |
| 副委員長 | 三上 周治 |
| 委員 | 山田 雅徳 |
| 委員 | 溝手 宣良 |
| 委員 | 三宅 啓介 |
| 委員 | 岡崎 亨一 |
| 委員 | 頓宮美津子 |